

8 月 27 日：先行き不透明感から下落

昨日のベトナム市場は、投資家が世界市場の不透明感に懸念を高めたことから株式を手放す動きが広がり、下落して引けた。

ホーチミン市場のベンチマークである VN 指数は、日中上昇する局面はあったものの、0.62%下落し 976.79 ポイントで引けた。

同指数は月曜日、アメリカと中国の貿易戦争の激化が世界の経済成長に与える影響が懸念され、0.96%下落していた。

タインコン証券 (TCSC)によると、取引開始後は高く始まったものの、世界経済と株式市場への懸念が引けにかけて高まったことから下落に転じたということである。

保険、不動産、証券、IT、銀行、食品・飲料、農業、小売等の下落が目立った。

vietstock.vn のデータによると、これらのセクター別の指数は 0.9～1.8%下落した。

VN30 指数が 0.62%下落し 886.91 ポイントで引けたことから、大型株が強い売り圧力にさらされたことがわかる。

VN30 構成銘柄の中では、時価総額と売買代金の大きい 18 銘柄が下落し、上昇は 9 銘柄のみだった。

大型株の中ではビールメーカーの SAB、小売の MWG、不動産の VIC、乳業の VNM、その他 VCB、MSN、FPT、BVH などが上昇した。

世界経済への懸念から、投資家は慎重姿勢になっており、手じまう動きもあると TCSC はデイリーレポートで述べている。

しかし投資家が大型株から手を引く一方で、VN 中型株指数が 0.2%上昇し 963.79 ポイントで引けるなど、資金の一部が中型株に向かう動きも見られた。

TCSC は、中型株への買いは、市場が下落するなかでも買い場を見つけようとする動きだとみている。

ベトナム企業と海外企業との提携が認可されたことが明るい材料となった工業団地、港湾などに投資家の注目が集まった。

サイゴンハノイ証券 (SHS)によると、現在のベトナムと世界の株式市場の最大の懸念事項は、アメリカと中国の貿易戦争の激化であり、これは世界経済に予期せぬ影響を与えうると見ている。

同社によると、投資家には常に慎重な判断が求められ、株式市場は難しい局面にあるということだ。

また同社は今日の VN 指数のレンジを 975～981 ポイントで推移すると予測している。

ハノイ取引所では、HNX 指数は 0.05%上昇し、102.86 ポイントで引けた。

同指数は前日は 0.43%下落していた。

両取引所とも流動性は低下しており、出来高は計 2 億 1,280 万株、売買代金は 4.92 兆ドン（約 2 億 1,150 万ドル）となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。